

平成 23 年 1 月 4 日

## ぺてかり

日 高 南 部 森 林 管 理 署



謹賀新年

卯

『寅年』から『卯年』に替わり、職員・家族の皆様には今年中の御健勝を心より御祈念申し上げます。

平成 22 年度事業も残り 3 ヶ月、安全作業で今年度計画を達成しましょう。

引き続き、地域に信頼され、地域要請に応えられる国有林をめざしますので変わらぬ御支援・御協力をお願いします。

# 十一月～十二月行事結果

## 【11月】

- 8日 里平小学校  
「治山工事完成見学会」  
安全運転管理者等法定講習会
- 9日 狩猟巡視（若園部内）
- 10日 狩猟巡視（門別部内）
- 11日 安全点検（浦河地区）  
保全整備第4号一般競争入札  
事務用品外物品一般競争入札
- 15日 狩猟巡視（三石部内）  
狩猟巡視（奥静・春別部内）  
産業医現場巡視（静内地区）  
日高地区林活連絡会議役員会
- 16日 安全点検（門別地区）
- 17日 安全点検（静内地区）
- 18日 VDT点検（西舎・えりも）
- 24日～25日  
旧緑資源幹線林道現地検討会
- 25日 砂防治山連絡調整会議（道庁）  
年末調整事務説明会
- 26日 「ぺてかり」編集委員会

## 宿舎運営委員会

安全衛生委員会

境界刈払請負契約一般競争入札

29日 札幌地区国有林等  
所在市町村長有志協議会

30日 第4回新ひだか町  
緑の分権改革推進委員会

【12月】

1日～31日 ゼロ災月間（準備期間）

1日 冬山作業「安全の呼びかけ」  
（門別・静内・浦河地区）

狩猟巡視

（東川、御園西・東部内）

請負事業体等現場巡視

2日 えりも海岸林の今後の森林  
管理のあり方に関する検討会

3日 定期特殊健康診断

6日 安全点検（浦河地区）

安全点検（静内地区）

海岸防災林造成事業

（その2）一般競争入札

8日 狩猟巡視（西舎・野深部内）

遊々の森「枝打ち作業」

8日～9日

北海道育種場

アオダモ植栽予定地視察

10日 森林官等会議

交通安全講話

安全祈願祭

13日 公宿修繕工事一般競争入札

産業医現場巡視（浦河地区）

15日 素材公売（局）

16日 VDT点検（えりも）

請負事業体等現場巡視

狩猟巡視（奥新冠部内）

国有財産用地

測量一般競争入札

20日 しずのう環境教育プロ

ジェクト中間まとめ報告会

20日～21日

低コスト・高効率作業

システム検討委員会視察

21日 安全衛生委員会

28日 仕事納め

深

★ 新年を迎え「気持ちも新たに気を引締め」より一層の連携・協力を。

流

★ 今年もインフルエンザ流行の兆し、日常のうがい・手洗い忘れずに。

★ いよいよ厳寒期、スピード控えて冬型交通事故の防止を。

★ 今年も広報誌「ぺてかり」の充実に向け、投稿等の協力を。

（事務局）



田端 桂

3回目の年男です。

昨年の大きな出来事といえば、日高南部署への異動でした。8月異動で慣れない中、何かとバタバタしてご迷惑をおかけしましたが、治山課のメンバーをはじめ、皆様のおかげで何とか無事新年を迎えられます。

平成23年は、昨年にも増して変化の大きな年になりそうですので、何事も先を見つつ業務にあたりたいところですが、ただ、日々の仕事も家族と健康あつてのもので、家族に感謝し、また、日々の運動で体力向上を図りたいと思います。



津田 透

今回で3回目の干支を迎えることになりました。

気が付けば、当署に来てから6年9ヶ月が経ち、この間で印象に残っている事は、平成19年度に岐阜県で行われた銘木市で、大雨の中、採材し出品したウダイカンバ3本が超大台で落札されたことです。

今年の抱負は、子供と遊んでよくギックリ腰になるので、年とともに落ちていく体力を自覚し、皆さんに迷惑をかけないように、健康管理に注意していきたいと思います。

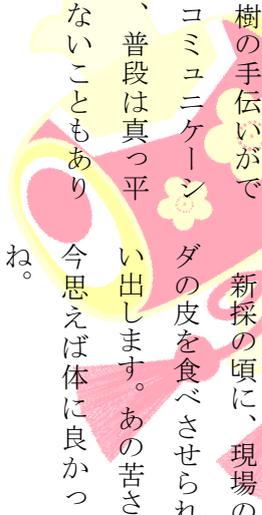


佐藤秋仁

3回目の干支を迎えました。前回の年男の時に何をしていたのか覚えていませんが、あつという間のように感じます。

日高南部では様々なイベントが開催されていますが、中でも静内農業高校の二十間道路桜並木測樹の手伝いができたことは、生徒とのコミュニケーションはもちろんですが、普段は真っ平らな地形での調査が少ないこともあり新鮮でした。

今年は、健康に気遣いながら若いふりをし、仕事では新しいことを覚えていきますのでよろしく願います。



大水貴博

明けまして

おめでとうございます。

今年で3回目の干支を迎えることになりました。世間一般では「アラフォー」と呼ばれる世代なんですね。今年で36歳になります。

新採の頃に、現場の職員の方にキハダの皮を食べさせられた事が今でも思い出します。あの苦ささといえね。今思えば体に良かったので感謝ですね。

無理をせず、実年齢より一層若く心がけて、今年頑張っていきたいと思っています。

# 課題に向い理解を拡げる為に 地域に目を向け・声には耳を傾けて



署長 花木 健英

新年明けましておめでと  
うございます。

職員の皆様におかれましては、ご家族共々ご健勝で輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年をふり返ってみますと、何と言っても国有林野事業に

とって最大の出来事は、十月三十日に国有林野事業特別会計の事業仕分けが行われ、「債務の返済部分を区分経理した上で、組織・事業は一般会計化」という方向の評価が出されたことにより、国有林野事業は一般会計化に向けて大きく前進したことです。

今後は、①債務返済の見通し②効率的な事業運営③一般会計化後の新たな国有林管理等の具体的な内容について、広く国民の目に見える開かれた場で検討が進められる事になると聞いております。一昨年から昨年にかけて、私達は、農林水産省改革に対する一人ひとりの意識の高揚と徹底、点

検を繰り返し実施する中で、行動規範として「七つの問いかけ」を国民目線の基本に据えてきました。

生命を支える「食」、安心して暮らせる「環境」を未来の子供達に継承していく使命を背負った農林水産省の中で、私達林野庁は、その先頭に立ち、常に国民の皆様の期待を正面から受け止め、時代の変化を見通して、政策を確実に推進・実施していく事が求められています。

国有林野事業の一般会計化への道は決してバラ色とはいえません。ただ、一人ひとりが「七つの問いかけ」を国民(地域)目線で自らに課しながら、真摯に外向きの姿で汗をかいていくことが、その道を切り開

いて行くことにつながるものであり決して難しいことではないと思います。

昨年、当署の森林官会議に、地元町内会の上神田副会長に来て頂き、地域社会が私達に要望することを率直に話して頂きましたが、こうした地域の皆さんの声に耳を傾ける努力をすれば、私達のこともしづつでも理解してもらえることにつながるのではないかと思います。

あと二年、これまで取り組んできた署主催の数々のイベントに加え、地域イベントにも目を向けて、より積極的に取り組んでいく考えです。

# 安全運転のために知っておきたいパートII



次長 永野正人

新年明けましておめでとうございます。職員の皆様にはご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、冬期間においては、寒冷的な気候、積雪等により作業条件が一段と厳しくなると同時に、道路状況も日々変化することから、滑り・転倒等による災害や路面凍結によるスリップ事故等が危惧されるところであります。このような状況から、121号では「安全運転のための目力アップのために知っておきたい視機能のあれこれ」について紹介しましたが、今回はパート2として『安全運転のため

の心力(こころちから)アップのために知っておきたい運転心理のこんなこと』について紹介したいと思います。

ドライバーは、「認知」→「判断」→「操作」の手順を繰り返して車を運転しているといわれます。「認知」とは、交通場面の中にある異常や危険を見て(見つけて)知ること。また、「判断」とは、認知した事からをもとに、考慮・予測してどう行動するかを決定すること。そして、その決定にそって「操作」が実行されます。アクセルやハンドルなどの操作が巧みなドライバーでも、交通事故を起こしてしまうことがあります。安全運転の確保が手足の機敏さよりも、目力や心力によるところが大だからです。ドライバーに安全運転のための心掛けを話して聞かせることは簡単です。しかし、人の心のありようは単純ではありません。そこで、運転にかかわりの深い人の心理について認識することが重要となっています。

①注意にはもともと限界がある。一瞬の間に人間はいくつぐらいの事物に注意を払うことができるのかを、ある学者

が実験した結果によると、注意できる事物の数は『7±2個』がせいぜいとされています。このように、人間の注意にはもともと限界があるということを確認し、「注意しているから大丈夫だ」という思い込みを戒めることが大切です。

②実際の速度より遅いメンタル・スピード。加速したり減速するときは、ドライバーの多くは車のスピードメーター「客観的な速度」ではなく、メンタル・スピードメーター「主観的な速度」に頼っているといわれています。特に、エンジン音や走行音、風切り音などが低い車に乗っているときや、見通しのよい視界が開けた道路を走行しているときなどは、メンタル・スピードを低く感じる傾向が強くなりますので、時々スピードメーターで実際の速度をチェックする必要があります。

③高い速度でも長く走れば低く感じる。高速道路に入った直後は時速100キロをハイスピードだと感じますが、走り続けているうちにそう感じなく

なってきました。高速道路を長時間走行して一般道路におりたときや郊外の交通量の少ない道路を法定速度いっぱい走り続けた後などは、車の速度計でのスピードチェックが不可欠です。

④「他の人より先行したい」は本能的欲求。急がなくてもいいのに、「前の車がノロい」「後続者におおられた」といったことで、先急ぎの心理に陥ることがあります。先急ぎの運転をする、追越しをかける回数や急ブレーキを踏む回数などが激増するにもかかわらず、目的地までの所要時間は安全運転をした場合と比べて大差ありません。先急ぎ運転に陥ったら、『本能的欲求に翻弄されるほど自分は原始的ではない』とわが身を振り返ることが必要かもしれません。

このように、交通場面の中の見えない危険を推しはかたり、自分勝手な思い込みを抑制できる『心力』を認識し、今年一年、日高南部署が事故や災害のない明るい職場として、職員一人ひとりが同じ気持ち・認識を持って、無災害を達成するとともに、職員はもとより家族の皆様にとって、心身ともに健康で良い年となるよう願っています。

# 現場だより



4月にえりもに来てから9ヶ月が経ち、仕事にも生活にも慣れてきました。採用2年目にして一人事務所勤務

になり、仕事は分らない、知り合いないという環境に最初は不安いっぱいでした。しかし、署や町の方々は本当に親切な方ばかりで、日々勉強しながら楽しく仕事ができています。

えりもは来訪者がとても多く、今年もJICAが二度訪れました。海外の方と仕事で交流するということとても貴重な経験ができました。また、植樹祭などのイベントが多く、イベントが好きなら私には合っている仕事だと思えます。もちろんそれ以外にも、海岸防



中高一貫教育（中学生カミネッコン植樹）

えりも治山事業主任 志田有里絵



第一展望台からの景色

災林造成事業を行っているため現場監督に行ったり、事業予定箇所の計画・調査を行っています。自分で事業計画を立てることができる立場であり、責任は大きいですが、様々なことに挑戦できるので、とてもやりがいがあります。

これから「えりも」で初めての冬を経験しますが、安全作業・安全運転で仕事をしていきたいと思えます。今後もし、迷惑をお掛けすることがあると思えますが、日々努力していきますのでご指導よろしくお願ひします。

干支  
卯

今年の抱負



佐久間 政敏

早いもので5回目の干支を迎えあと1年で定年となりました。

地球温暖化の中で森林・林業に携わり、水・空気と憩いの大切さを特に感じる場所です。

生まれ故郷（御園）の二十間道路で静内農業高校の生徒達と一緒に桜吹雪の中を樹木観測できたことが楽しい思い出の一つとなりました。

50歳後半での現場経験を生かし、この体力を今後とも維持して行きたいと思ひます



濱 秀雄

5回目の年男、あと2回は迎えたいと欲張っています。

昭和50年（静内製品事業所の冬山応援）・平成11年（日高南部署・造林係）と干支年には静内に在職、今回で3度目です。

昭和51年頃、節婦貯木場（当時は新冠営林署）に自衛隊機が墜落、原因調査のため一週間以上貯木場が閉鎖状態になったことが印象に残っています。

今年の目標は、北海道日本ハムファイターズのリーグ制覇と日本一達成のため、札幌ドーム球場30試合応援と沖縄キャンプ視察を実現したいと思っています。



# ★ 里平小学校治山工事完成見学会 ★

11月8日、日高町正和にある里平小学校にて、「樺奴東沢治山工事」完成見学会を行いました。今回の見学会は、昨年1月に地区住民の方を対象とした「治山工事説明会」を実施した際、「里平小学校に通う児童たちに治山事業の説明をしてほしい」と要望があり開催したものです。説明にあたっては、小学生にも理解してもらえるよう、なるべく専門用語は使わず、わかりやすい言葉で説明するように努め、平成15年台風災害時の航空写真や治山ダムのイラストを見せながら説明しました。見学会当日は絶好の



見学会日和とはいかず、肌寒い天候でしたが、それでも児童たちは真剣に私たちのつたない説明に耳を傾けてくれました。最後に、完成した治山ダムの壁面に児童たちが思い思いに記念ペイントを行い、自分の名前や好きなキャラクターの絵を描いたり、児童たちの楽しそうな笑顔が印象に残った治山工事完成見学会となりました。また、このような機会があれば、治山事業の推進に向けたPRを積極的に行っていきたいと思います。  
(治山第二係長)



この日は、これまでにない気温の低い日でしたが、枝打ちに加えカシワからんでいるつる類の除去も実行しました。トドマツなどと違い、太い枝の枝打ち作業に最初は上手に伐れない様子でしたが、慣れてくるとだんだんできるようになりました。

最後に、生徒代表の感想発表では、「普段することのできない作業で、貴重な体験になりました。」との感謝のことがあり今年度の活動を終了しました。

(流域管理調整官)

12月8日、門別中学校の一年生24名が遊々の森(カシワ遺伝資源保存林)で、今年度第2回目の活動としての枝打ち作業に取り組み、門別首席森林官ほか5名が作業の指導などを行いました。

今回の作業は、カシワ林に後継樹がなく更新不良となっていることから、林内を明るくし、下層木の更新を促進させることを目的に行いました。今回の枝打ち作業の目的を生徒達に説明後、保安帽と腰にノコギリをつけ、四班に分かれて作業をしました。



## 遊々の森でカシワの枝打ち作業

# 交通安全全講話



12月10日、静内警察署の黒澤交通係長から、交通安全講話をいただきました。

現在、北海道内の交通事故死者数が全国ワーストワンとなっているとのことですが、静内警察署管轄の新ひだか町・新冠町では死亡者がいないことから、道内でも注目され、複雑な気持ちで変な緊張が続いているようです。

次に、人間は一点を見つめると視野が狭くなるので、冬道に限らず、交差点では特に注意して回りの安全確認が必要とのことです。交通係長も普段からカレンダーなどで、対向車・横断歩道・進行方向の3点確認の訓練をしているとのことでした。

年末年始に向け、飲酒運転厳禁はもちろんのこと、公務員として模範となる運転をつづけてほしいと要請され、「責任感あふれる」職員はハンドルキーパーのマスコットをいただいています。

(総務課長)

## 安全祈願祭



平成22年12月10日、日高南部森林管理署「平成22年度、山神祭・安全祈願祭」が静内神社において、執り行われました。

今年も暦の関係(本来12月12日)で昨年同様繰り上げての山神祭となったのですが、そのせいか今年も暖かく穏やかな晴天に恵まれました。

販売係長の司会により、皆さんの祝辞を頂き、出席者全員による玉串奉奠を行い、

署長訓辞の後、御神酒を頂きました。

その後場所を移動し、車両等のお祓いを執り行い、今後の安全を祈願しました。

残念ながら、当署において今年6月に2年連続となる公務災害が発生してしまいましたが、この祈願祭を期に、一人ひとりが気持ちを新たに、労働安全の確保に取り組んでいきたいと思えます。

(業務第二課長)